

第三回支部総会開催

第4号

放送大学同窓会
神奈川学習センター支部
総務委員会
岩間 吉男
発行日 平成4年9月9日



去る六月十四日(日)に、放送大学同窓会神奈川学習センター支部の第三回総会(通常)が開催されました。別所敏明前会長の挨拶の後、七件の議案が審議され、いずれも原案通り可決・承認されました。このほか、フォスター・プランについての活動及び会計報告等も行われました。

最後に、加藤あいし新会長の挨拶があり、総会は無事終了致しました。

会長就任によせて

放送大学同窓会神奈川学習センター支部の第三回総会も六月十四日に無事終わり、平成四年度の活動を開始したところです。

今年は役員改選が行われ、約半数にのぼる役員の新旧交替がありました。同窓会発足に向けた準備段階の当初から今日まで、初代会長をはじめ役員皆様方のご尽力により、神奈川学習センター支部が設立され、その活動基盤も整って参りました。この基盤の上に立って、今後は神奈川らしい特色を盛り込んだ活動を進めて参りたいと考えております。その

ところで、同窓会の会員数も年々増えており、先に同窓会を開催した時点で二二六名を数えるまでにな

第三回支部総会報告(会則第四章第十四条による会員への通知)

第三回支部総会報告(会則第四章第十四条による会員への通知)

第二号議案 平成二年度収支・決算報告、平成三年度会員費及び会計監査報告

第三号議案 平成四年度活動計画案

第四号議案 平成四年度収支・予算案

第五号議案

第六号議案 平成四年度選挙管理委員会の選任

第七号議案

第八号議案 平成四年度選挙管理委員会の選任

第九号議案 平成四年度選挙管理委員会の選任

第十号議案

第十一号議案 平成四年度選挙管理委員会の選任

第十二号議案 平成四年度選挙管理委員会の選任

第十三号議案

第十四号議案 平成四年度選挙管理委員会の選任

第十五号議案 平成四年度選挙管理委員会の選任

第十六号議案 平成四年度選挙管理委員会の選任

第十七号議案 平成四年度選挙管理委員会の選任

第十八号議案 平成四年度選挙管理委員会の選任

第十九号議案 平成四年度選挙管理委員会の選任

第二十号議案 平成四年度選挙管理委員会の選任

第二十一号議案 平成四年度選挙管理委員会の選任

第二十二号議案 平成四年度選挙管理委員会の選任

神奈川学習センター支部会長

加藤 あいし

一環として、「フォスター・プラン」活動への参加があります。これは、発展途上国に対する教育援助活動に協力するもので、その子供たちの将来や地域社会の環境改善のために努めようとするものです。このような国際貢献は、豊かな国に住む者の責務であり、放送大学の理念にも通ずるものではないかと考えますので、今後も一層の協力が出来ますよう存じます。

また、会員相互の親睦を図るのは勿論のこと、各サークルとの交流を深め、放送大学や同窓会の発展に貢献して参りたいと存じますので、会員の皆様のご協力、ご支援を心よりお願い申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

(第1号議案-1)

平成3年度活動報告

(平成3年4月1日～平成4年3月31日)

I 諸活動

活動名	年月日	備考
1 第二回支部総会	平成3年6月16日	会員数160名、出席者25名
2 講演会	平成3年6月16日	講師仙洞田潤子先生 演題「ゴルバチョフ大統領
3 会報「波濤」の発行	平成3年7月30日	来日以後の日ソ関係 出席者50名
4 キリンビール工場見学	平成4年2月10日	第2号
5 '92ニューイヤーパーティー	平成3年8月18日	第3号
6 フォスター・プランへの参加	平成4年1月12日	出席者16名
	平成4年3月 1日	TOGETHER、放友会と共に催 出席者40名 フォスター・チャイルド1名 (グアテマラ、ピラールちゃん)

II 役員会

	年月日	
第1回	平成3年 4月13日	支部総会、在学生サークルとの連絡会、会報のネーミングについて
第2回	5月12日	支部総会、支部活動としての社会への貢献について
第3回	6月 1日	支部総会打ち合せ、講演会について
第4回	7月13日	総会・講演会の反省、ビール工場見学の計画と打ち合せ
第5回	9月14日	ビール工場見学の反省、フォスター・プランについての提案
第6回	12月 1日	フォスター・プラン実行委員会設立、ニューイヤーパーティー、会則の細則について
第7回	平成4年 1月12日	ニューイヤーパーティーの反省、会報第3号発行、フォスター・プランについて
第8回	2月23日	会則の細則、フォスター・プラン実行委員会報告、会報第3号の反省点

<第2号 議案>

平成3年度 収支決算報告

(平成3年4月1日～平成4年3月31日)

(金額単位：円)

別所 (追加議案) 平成3年度選挙管理委員	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘要
敏明・鈴木	1. 収入の部				
	(1) 繰越金	410,951	410,951	0	平成2年度分より
	(2) 本部助成金	92,000	122,000	30,000	H3/4～H4/3迄2,000円
	(3) 寄付金	170,200	62,700	▲107,500	11名 X61名
	(4) 利息	6,849	10,441	3,592	税金2,609円差引済み
	(5) 雜収入	0	1,450	1,450	ビール工場見学残金
	合 計	680,000	607,542	▲72,458	
照子・村上	2. 支出の部				
	(1) 活動費	149,000	63,234	85,766	用紙代等
	会報費	(5,000)	(3,234)	(1,766)	用紙代等
	会員名簿費	(4,000)	(0)	(4,000)	講演料、及びF.P. 援助費
	活動運営費	(140,000)	(60,000)	(80,000)	
	(2) 事務局運営費	212,780	126,897	85,883	
	会議費	(5,520)	(1,969)	(3,551)	議事録コピー代
	交通費	(70,000)	(29,280)	(40,720)	H3年度旅費規則に基づく
	通信費	(87,560)	(52,715)	(34,845)	切手、ハガキ代
	振替手数料	(0)	(0)	(0)	
	消耗品費	(14,700)	(11,793)	(2,907)	ハサミ、クリップ等
	交際費	(10,000)	(5,178)	(4,822)	事務所へ菓子折り
	慶弔費	(0)	(3,553)	▲(3,553)	祝電平成3年度卒業生へ
	外注費	(20,000)	(11,709)	(8,291)	写真及び花代
	備品費	(0)	(0)	(0)	
	雑費	(5,000)	(10,700)	▲(5,700)	会報命名賞金及び ピンゴゲーム購入
	合 計	361,780	190,131	171,649	
美砂子	収支差引残高	318,220	417,411	99,191	

郵便貯金現在高 417,411円 (但し、収支差引残高は平成4年度収支予算に繰り入れ)

平成四年度役員候補者名簿(案)

副会長

稻葉あいし

監事

会計

理事(企画)

龍造寺

理事(総務・規約)

小川みのり

和田正子

吉江雄

(第1号議案-2)
会則施工規則等について(報告)

平成3年度制定及び改正し規約類について

(1) 制定又は改正した施工規則

- ① 旅費規則
- ② 経理規則
- ③ 選挙管理規則

(2) 取り決めた内規

- ① 学習センター当局者等が死亡した場合の取扱基準について

(第6号議案)

平成4年度選挙管理委員候補者名簿(案)

池田 美智子・別所 敏明・宗行 紀子

(第3号議案)
平成4年度活動計画(案)

I 会員相互の親睦

1 定例活動

- (1) 会報『波濤』の発行(年2回予定)
- (2) 同窓会神奈川支部会員名簿の作成
- (3) レクリエーションによる交流(学園祭等に参加)
- (4) ニューイヤーパーティー(1993年の年頭、学生サークルと共に予定)

II 社会への貢献

1 國際貢献

フォスター・プラン参加の継続

III 学習活動

1 生涯学習

- (1) 講演会の開催
- (2) 座談会の開催
- (3) 知識修得と施設見学(放送大学本部 図書館等)

IV その他

<第4号 議案>

平成4年度 収支予算(案)
(平成4年4月1日~平成5年3月31日)

(金額単位: 円)

科 目	予 算 額	摘要	要
1. 収入の部			
(1) 繰越金	417,411	平成3年度より	
(2) 本部助成金	100,000	H4/4月1日~H5/3月31日迄の	
(3) 寄付金	70,000	2,000円×50名	
(4) 利息	10,000		
(5) 雜収入	2,589		
合 計	600,000		
2. 支出の部			
(1) 活動費			
会報費	100,000	用紙代 等	
会員名簿費	(5,000)	コピー用紙 等	
活動運営費	(5,000)	講演料及びフォスター・プラン援助費	
(2) 事務局運営費	246,000	講事録コピー代	
会議費	(6,000)	旅費規則に基づく	
交通費	(100,000)	会報送付年2回(250名×72円)36,000	
通信費	(80,000)	会員名簿送付(250名×72円)18,000	
消耗品費	(10,000)	往復ハガキ(250名×82円)20,500	
備品費	(0)	その他 切手、ハガキ、封筒 等	
交際費	(10,000)	マジック、ボールペン、クリップ 等	
慶弔費	(10,000)		
外注費	(20,000)		
雑費	(10,000)		
(3) 繰越金(次期)	254,000		
合 計	600,000		
収支差引残高	0		

良く理解できた援助活動の仕組み

稻葉 恒夫

去る六月十四日（日）神奈川支部総会の後「国際貢献について」のテーマで（財）日本フォスター・プラン協会の後藤みどり氏をお招きして講演会を開催した。内容は、フォスター・ペアレントとチャイルドとの交流活動の「テレビニュースのビデオ」を中心として話を進められたので、具体的でわかりやすく、且つ、感動的でもあった。

栃木県市貝市の市貝小学校生徒三三〇人は、月に二〇円のお金を出しあってアフリカ・ジンバブエのエノキ君と手紙や絵による交流を図っており、生徒達は「外国人の友達ができた」と喜び、先生は「生徒達の優しい心を育てたい」と語っている。

相川町の、身体障害が有る子供を持つ親達のグループは「何かして上げたいと思つても無理があり、お金を少し出すことで、お返しができれば」とタイ国のウスマダーンちゃんのペアレントである。札幌テレビの木村氏はスリランカのチャイルドを訪ねた。まず現地事務所でケースワーカーから、チャイルドを含めた地域状況の説明を受けたのち、チャイルドとその家族を訪問している。持参したサッポロラーメンに舌づつみを打つ家族達、折り紙で鶴の折り方を習うチャイルドも、皆、心からの歓迎をみせていた。木村氏は「行って帰つて来たら、かえ

つて肩に重荷が掛かったような気になつた」と述べている。

時間をオーバーする程の質問が有り、「足ながおじさんと言う表現は適切ではないのではないか」との質問には「チャイルドを含めた地域全体の足ながおじさん」と言う意味で使つてはいる、他に適当な言葉が有れば取り替えたい。との答で講演会を締めくくつた。



ピラールちゃんです。

フォスター・プランに寄付をしていただいた方々です。

大塚品子	宮川恵子	安井一吉	宇都宮絢子
細川博	遠山京子	市村恭子	杉本志津子
中川英子	鈴木照子	岩間吉男	村上美砂子
松岡和正	稻葉恒夫	別所敏明	加藤あいし
藤田茂光	龍造寺寛	片山洋子	小川みのり
肥田野先生に心理学を学ぶ会有志	同窓会役員有志	以上	

（敬称略 順不同）

ご協力ありがとうございました。
今後ともご支援宜しくお願ひいたします。

木村氏は「行って帰つて来たら、かえ

ひとこと

放送大学卒業生の皆様こんにちは、私は、今年度やつと卒業することが出来まして、皆様の仲間入りが出来ました。放送大学同窓会がどんな活動をするのかよくわかりませんが、人伝えに聞くところでは、入会者が少なく資金難と聞きます。それは何故でしょか。同窓会を活性化するには、やはり幅広く、大勢の意見を聞くことだと思います。その為には、多少の費用がかかつてもアンケートを取り、卒業生が「どのような事を同窓会に望んでいるか」ということを把握することです。

今後の活動方針に役立てる事です。卒業生が望んでいることを一〇〇%でなくとも、ある程度の関心事が運営の中取り入れられることは、魅力ある同窓会につながり、入会者が増加することでしょう。それから、役員は年度毎に各年代層の代表を混えてひらき、同年代の集まりにしないことです。各年代年代での問題意識は違いますから同年代の役員が固まる。他の年代の意見を吸い上げることが少なくなると思われます。任期は二期、一期毎に役員が半数改選にすれば、半数が残り引継ぎがスムーズにおこなわれます。私は同窓会にこんな問題意識を思つております。皆様のご意見をお聞かせください。

（S 生）



講演中の後藤みどり先生
(国際貢献について)



総会の様子

S・K

放送大学を卒業して

主婦でありながら大学を卒業できたことは、夢のようです。在学当時を振り返りますと、色々と脳裏に浮かんできます。先ず学習した内容ですが、現代の新しい課題・問題が多面的に盛り込まれており、学問の為の勉強ではなく、すばやく役立つ生きた勉強・・・幅広く参ります。

これに伴い、ますます新しい疑問が湧いてまいりました。さらに疑問を補いながら、新しい興味、関心を深めるための再入学をいたしました。

もし、放送大学がなかつたら、私はどのようにして学習や体験ができたでしょうか？

高齢のため、残念ながら充分に吸収できなかつた面もあり、もつと早く放送が開校されていたら、という恨みもございましたが、ともあれ、放送の存在とご指導頂いた諸先生に心より感謝申し上げております。

「酒」夢譚

安喰 馨

太古の昔から「酒」は、多くの人々の喜怒哀楽に深く関わって来て、書き出された様々な人間模様に色彩をそえてきた。いつの時代でも主役や台本がいかに変るうとも、終始一貫した性格をもつて役どころを占めて、人間社会の展開に大きな役割を果しておる。謂うなれば、人間にとって永遠のバイブルヤーなのである。

従つて「酒」にまつわる古諺も当然あり得る。先日約一万五千句ほど収録された小学館発行の「故事ことわざの辞典」の頁をめくったが、事項別索引一〇三頁以下に、酒にかかわる字句が一六八句、そのうち酒の効用に関するものは僅かに三十五句約二割、功罪相半ばするどころかあと八割は酒に数々の恨み辛みの想いを始めたもの許り。勿論類句もあり又

他項頁にもかかわりある字句もあると思うが、推察するにどうも酒にぶが無い。厚生省も躍起の態（八月一日読売新聞社会欄参照）。

然し乍ら、元来酒は自然の営みの中で、人間とは全く無関係に生まれて来たもので、偶々人間に発見され利用されて以来、あれこれと勝手に論議されて、何時の時代でも「必要悪」と謂う惡の一つにされてしまった。

酒にとつては甚だ迷惑。しらけた気分で「俺は関係ないよ、人間なんて身勝手なものよ」と嘯いている筈。半世紀の間、殆ど毎日「酒」と何人の支障もなくつき合つて来た此身に「酒」は言つてくれた。「酒は飲むにあらず和するもの」と。



「波濤」の由来

波濤とは、大波、大洋の意味です。学習センターのある横浜から連想される海を表わすと同時に波は電波の波でもあります。電波を拋り所に集まつた私たち一人一人の小さな存在が、日本生涯学習という新しいねり、つま

り大きな波を創つてきたのではないでしようか。そして卒業した今、更に何かしらの波濤を起こすことができたら

総会も無事終了、前役員の方々ご苦労様でした。地価や株価は下がり、世の中の景況は低迷していますが、同窓会は明るく前向きに活動したいと思ひます。今号の内容は、総会中心となりましたが、今後は会員の方の声を多くして交流が盛んになるように期待しています。この度、編集員のメンバーが一部交替し、更に充実した内容の会報をと皆様の活発なご投稿をお願いいたし

